

## 令和2年度第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議録

日時：令和3年1月20日（水）

18：53～19：56

場所：紀の川市役所5階 501会議室

### ◎開会

○事務局 皆さん、こんばんは。

昼間お疲れのところ申し訳ございません。定刻より少し早いですが、皆さんお揃いですので始めたいと思います。第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会にご出席をいただき誠にありがとうございます。

始めに、教育委員会の附属機関の組織及び運営に関する基準を定める規則第4条第2項の規定により、過半数の委員の出席をいただいておりますのでこの会が成立していることをご報告いたします。

それでは、第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会を開催いたします。

A委員につきましては所用のため欠席の報告をいただいております。

最初に、委員の皆様にご報告いたします。

PTA代表のB委員が仕事の都合上、令和2年11月20日付で辞任の申し出があり受理をいたしました。その後任といたしまして、奥様であるC様に委員としてお願いいたしております。

○事務局 それでは、委員の皆様よろしく願いいたします。

まず、お手元の資料のご確認をお願いいたします。

本日使用いたします資料は、1枚物の検討委員会次第。次に資料1、紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会委員及び事務局の名簿。続いて資料2、第1回紀の川市立適正規模適正配置検討委員会会議録について。次に、児童生徒数・学級数の推移。前回の資料の差し替え分です。

以上になります。皆様ご確認の程はよろしいですか。

それでは、次第に沿って進めて参りたいと思います。

---

### ◎会長あいさつ

○事務局 始めに、会長から挨拶を申し上げます。

○会長 改めまして皆さんこんばんは。

今日は暦の上では一番寒い日なんですね。しかも、お昼間お仕事なさった上にこうやっ  
てご参集いただきまして大変ありがとうございます。感謝申し上げます。

また、この前にも申しましたが非常に長期的な議論をお願いしなければいけないし、ゴ  
ールもかなり遠いところにある事案ですので、ぜひ皆さま方のご意見を伺いまして、将来  
に渡って紀の川市の教育が充実するような、そういうご助言等をいただきたいと思っ  
ています。今日も実りある会議になりますように、効率よく進めさせていただきたいと思  
いますのでよろしくお願い申し上げます。

簡単ですが挨拶とさせていただきます、よろしく申し上げます。

○事務局　ありがとうございました。

ここからは会長により進行をお願いいたします。

---

### ◎第1回紀の川市立適正規模適正配置検討委員会会議録について

○会長　それでは、議題の(1)第1回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会会議  
録について、事務局のほうから説明をいたします。

よろしく申し上げます。

○事務局　まず、前回の会議を簡単に振り返らせていただきます。

委員の皆様をご紹介した後、会長と副会長を選出していただきました。

続いて、教育長から会長に対し、この検討委員会において次代を担う子どもたちのより  
良い教育環境の確保及びその向上を図るために、これからの紀の川市の小中学校のあり  
方についてご検討いただきたいということを諮問させていただきました。

その後、事務局より検討委員会の運営及び審議について。まず、適正規模とは国におき  
ましては小学校・中学校共に12学級から18学級を標準とするが、地域の実情や特別な  
事情等を勘案しつつ、教育上の課題があるかどうかを考慮する必要があるとされている  
こと。また、適正配置につきましては、児童・生徒の負担や安全を配慮し、地域の実態を  
踏まえた通学条件や通学手段が確保されるように考慮する必要があることをご説明申し  
上げました。

紀の川市におきましても合併以降の児童・生徒数の減少と、今後も減少が加速するこ  
とが予想されていることに伴いまして、まず一つ目として、少子化に対応した活力ある小中  
学校のあり方。二つ目として、小学校の通学区域のあり方。三つ目として、小学校と中学  
校の接続のあり方。四つ目として、市民・保護者アンケートの内容。この4点についてご  
審議いただきたい旨の説明をさせていただいております。

あと、前回ご説明しました資料3、紀の川市立小学校における普通学級数・児童数につ  
いてですが、誤りがありましたので訂正をさせていただきたいと思えます。

今日お手元に差し替え分をお配りしておりますので、ご覧いただけますでしょうか。

前回の資料では、来年度から東貴志小学校や調月小学校も複式学級となるとしておりましたが、令和6年度までは川原、鞆渕、上名手、麻生津の4つの小学校で複式となっております。令和7年度に調月小学校、翌8年度に竜門小学校それぞれ1つずつ複式学級が発生する可能性があるということになりますので、改めて訂正をさせていただきます。申し訳ございません。

続きまして、前回の会議録についてですが、本日お配りしておりますが量もかなりありますのでこの場でのご説明のほうは割愛させていただきまして、また皆様お時間のある時にご覧をいただきまして、修正などございましたら今月末を目処に事務局のほうにご連絡いただけますようお願いいたします。

なお、会議録につきましてはホームページで公開もしております。

会議録についての説明は以上となります。

○会長 ありがとうございます。

ただ今、議事録について説明いただきました。

お手元の資料2には前回の発言につきましての記録を詳細に記載してもらっております。かなりの量になりますので、また後程ご覧になっていただいてご意見あるいは間違い等ございましたら、事務局へお申し出いただきたいと思っております。

前回の会議のことにつきましてご意見あるいはご質問あるいは他のご指摘等ございますでしょうか。

(発言するものなし)

○会長 よろしいですか。

お願いします。

○D 委員 この会議録ですけど、できたら会議をする前に配布してくれたら見ることができます。できれば会議録がこれからずっと出るのであれば、今みたいに説明してもらってもいいのですが、それまでにこっちも頭へ入れておきたいので、できたら配布するようにしてほしいです。

○会長 ありがとうございます。

本来そうかもしれない。

事務局どう対応しましょうか。

○事務局 確かに仰っていただいているとおり、前回の振り返りなどを皆様方が確認されたいというのももちろん分かりますので次回からはなるべく早く議事録ができたタイミングで皆様にお渡しさせていただいてご意見、訂正とかを伺っていきたく思います。申し訳ございません。

○会長 よろしいですか。

じゃあ、そのような形で進めさせていただきます。

他にご指摘ございますでしょうか。どうぞご発言ください。

よろしいですか

(発言するものなし)

○会長　それでは、次の議題に進ませていただきます。

---

### ◎保護者・市民アンケートについて

○会長　議題の(2)といたしまして、保護者・市民アンケートについてです。

事務局から説明していただきます。お願いします。

○事務局　前回お配りしております資料9のアンケートをご覧ください。

このアンケート調査につきましては、対象者は紀の川市に住民票を有して現在保育所や幼稚園、こども園に通っている園児の保護者の方、また小学校の児童の保護者の方、合計約4,000人となります。

あと、20代から50代まで各世代の300人、60歳以上で300人の合計1,500人の市民の方を無作為に抽出して実施する予定としております。

前回、皆様方にこのアンケートの内容のご確認をお願いしているところですが、皆様方から本日いただいたご意見をもとに内容の調整を行いまして、次回改めてご審議いただいて確定したいと考えております。

前回そのアンケートの内容や表記の確認をお願いしたところですが、ご覧いただいたなかでご意見等ございましたらお聞かせいただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

説明は以上となります。

○会長　ありがとうございました。

前回の会議でこういう形で保護者とそれから市民に対してアンケート調査を行うというところをご了承いただきました。その時に皆様方にご覧になっておいてくださいとお願いをしておいたのですが、こういう形でアンケートをするということ、それから内容的にご覧になっていただいて問題点等がありましたらご指摘いただきたいと思います。

ちょっと時間をおきますので見てみてください。保護者用と市民用、かなり重複しているところもありますが、多少それぞれのお立場の意見を反映するような工夫もされております。

お願いします。

○E委員　ちょっと内容についてご質問させていただきたいです。

市民・保護者両方内容的には一緒なので、保護者用の2ページ見ていただいて。2ページ・3ページまたがって問5、6、それから7ですね。

そこに質問内容の後に括弧して大規模学級メリット、それから小規模学級メリットと

いうふうに書かれてあるのですが、この大規模校、小規模校という定義をどのようにされているのかな。なかなかこれを見て保護者の方とか一般の方がちょっと分かりにくい部分があると思います。

そのアンケートの1ページ目に、国の基準というのがあるって、学級数が1学年2学級以上が望ましいとあるので、これを一般とするのであれば、この小規模校というのは単純に考えるとその単学級というふうになるのかな。ですので、11クラス以下になるかなと思います。ただまあ、その小規模校の中にも今言うように、人数によって複式に近いような学校と、だいたいクラス30人ぐらいで1学級という学校とでは、やはりちょっと内容的にもまた変わってくる場所もあります。

大規模校というのどうなんですかね。だいたい隣接市だと3クラス以上の学校があったりすると思うのですが、それぐらいが大規模校になるのかな。だいたいその2クラス、学年で2クラスの学校が多いかなと思うのですが、その辺でいうとまあ中規模校って言い方もするのかと思うのですが。その辺のおさえ方、意図を教えてくださいなと思います。

部分的にいうと、この問5の1番から4番まで人数、児童数を入れているのですが、その問いに対してっていうこの問6のほう、ここにその大規模校・小規模校メリットっていうのが入っているのですが、これがリンクするのか。後のその学級数のほうがこれがあるはまるかなと思うのです。この学級数、学級の児童数でいうと、例えば1番・2番、11人から20人、これはもう小規模校に明らかになると思うのですが、3番・4番の31人から40とか21人から30人というのは、もちろん大規模校でも当てはまる人数になってくるので、これがこの下の問いの小規模・大規模メリットっていうところに当てはまっていくのかなというところが一つ思います。その辺どうでしょうか。

○会長　ご指摘ありがとうございます。

大規模校・小規模校、あるいは大規模クラス、そういうようなアンケートに答えてくださる方のイメージが湧くようにという、そういうご指摘ということによろしいですね。

○E委員　はい。

○会長　事務局どうでしょうか。お願いします。

○事務局　ご意見ありがとうございます。

この質問の意図を明確するために大規模とか小規模と入れさせていただいております。実際のアンケートの際にはここは削除させていただきます。

それと今E委員が仰っていただいたようなその小規模校の定義ですね。それは実際私も難しいなと思っているところがございます。1クラスでも30人とかいる学校と、1クラスでほんの数人という学校も実際ございます。そこをうまく表せていない状況ということもありますので、そこらをもっと分かりやすく、明解にできるよう検討したいと思っております。

以上です。

○会長　　そういう形でよろしいですか。

ご指摘ありがとうございます。

どうぞお願いします。

○F 委員　　今の質問に関連するのですけども。

アンケートですね。これまあざっと見ましたら、保護者の方・市民の方を対象としたアンケートを中心に、このなかに児童の保護者とかそこから分かるのですけれども。例えば、教職員の方とか、そういう従事されている先生方のご意見もやっぱりアンケートの中に入れたらどうかと。

あるいは、小学校高学年ぐらいになったらかなり考え方とか自分らの考え方も出てくると思いますのでね。小学校の高学年とかあるいは中学生とか、そういう当事者の方、我々大人で考える問題点以外にも色々また考えるところがあるかと思います。それも加えていただけたらと。これはあくまで僕の個人的な意見ですので、ご検討よろしくをお願いします。

○会長　　ありがとうございます。

事務局お願いします。

○事務局　　E 委員が言われたその小規模校・大規模校のクラスでいくと、1 学年 1 クラスしかない単学級のところを小規模、複式クラスを含めてそれを基本的に小規模校というふうに捉えています。

さっき言われた隣接市みたいに 1 学年 4 クラスもあるところはなかなか紀の川市には少ないですけど、市の状況からその複数 1 学年に複数学級があるところは大規模校っていうような大まかな捉え方をしています。

○会長　　よろしいですか。

○G 委員　　今の対象の話、どの方々にアンケートをとるかという対象の話をさせていただきましたけれども。ここに中学校の保護者は入っていないというのは、これは意図があるんですね。それはこれが提言されて実際に動き出す頃には今の保護者はいないということになるのかも分からないけれども。今の中学校の立場から、保護者としての立場から、こんなだよっていうのもいただいてもいいんじゃないかなというのがあります。

それからもう一つ、大規模校・小規模校のメリット・デメリットってあると思うのですが、自分たちがこれから審議する上で、あまりここにとらわれすぎる必要はないと思うんです。

この小規模校、先程言われた 11 人から 20 人の小規模校っていうのを定義してしまうと、例えばグループ学習ができないのかといえさうではなくて、この 11 人、20 人ぐらいだったらペア学習という 2 人でしたりとか、あるいは 4、5 人でグループに分かれてっていう範囲ですよ。だから、あまりそこに、こっちは大規模のメリットですよ、小規模のメリットですよというのが出てしまうと、自分たちの頭は先入観が入ってしまうかなと思うのです。

学校現場を経験されている方はある程度分かると思うのですが、そうではない方々にとっては「あっそうなんだ」って思われるのがちょっと気になりますので。ある程度参考程度にどんな意図でやられているかぐらいで考えていけたらどうかなと思います。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

いかがでしょうか。どうぞご議論を続けてください。

○事務局 すいません。先程 F 委員さんからのご意見の中に、先生にもご意見、アンケートをすればというご意見ですが、先生についてはまた別な形で学校へ調査を取ればと考えておりますので、検討していきたいと思えます。

○F 委員 分かりました。

○会長 よろしいですか。

もし必要でしたらご発言。よろしいですか。

ありがとうございます。ご指摘ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

お願いします。

○事務局 G 委員のなぜ中学校の保護者を特に指定していないかということですが、確かに実施する頃にはもう保護者ではないというのがあって、保護者の枠には入ってないですけど、一般市民の中に入ってくるという押さえ方になっているというのが現状で、今の案ということになります。

直接保護者としては直面しないということで保護者の枠から外しているということで、今の事務局の案はそういう形になっております。

○会長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

そうしましたら今ご意見いただきましたが、それ以外にお気づきの点はどうか。ひと通りさらさらっとご覧になっていただいてお気づきの点。

お願いします。

○H 委員 すみません。この中の内容についても言わせていただいてもいいんですかね。

○会長 何でも結構です。

○H 委員 市民用の 3 ページの間 7 で、中に 7 番目の「目的や内容に応じて児童に色々な学び、また学びあう指導を切り替えて行うことが期待できるということ」をこの内容についてか意味がちょっと分かりにくかったんですけども。

こういうような質問させてもらってもいいんでしょうかね。

○会長 事務局お願いします。

○事務局 今 H 委員仰っていただいたように、確かにちょっと分かりにくい表現っていうことも思えますので、もっと分かりやすい感じで設問のほうに変えさせてもらいたいと思えます。

また全体的にもう一度見直したいと思います。

○会長 よろしいですか。

○H 委員 いえ、その内容じゃなくて、今私ら聞かれているのはそのこういう文面をどう変えるということじゃなくて、全体に何を質問するのかを聞かれているのですか。

ちょっと質問されている意味が分かりにくくてすみません。

○会長 ご指摘ありがとうございます。

事務局どうですか。

○事務局 その全体的なことでももちろん結構ですし、それで細かいお気づきの点とかでも結構ですんで、何かそういったことでご意見等いただけるのが有り難いと思っております。

以上です。

○会長 ご指摘ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。さらさらっとご覧になっていただいて。

お願いします。

○I 委員 すみません、細かい点でもいいですか。

保護者の、まあ市民のところへも被ってくるんですが、保護者の 2 ページの間 6 の (2) 番と (6) 番の内容ですけれど。教員の目が児童一人ひとりにいき届くという内容と、児童一人ひとりに目が届きやすく丁寧な指導が行いやすいっていうの。内容的に同じ内容かなというふうに思います。

後、ちょっと訂正になると思いますが、3 ページの間 11、それから 13 のところにある児童という言葉ですが、中学校については生徒という言葉になるかなと思います。3 ページの間 11 の (1) 番、これは間違っている部分になりますよね。ここは生徒と、それから 4 ページの間 13 の (4)、(7) の児童というところ、ここが生徒になるかなと思います。

市民のところも同じような形になると思います。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

どうぞ事務局お願いします。

○事務局 ありがとうございます。

そのところにつきまして、中学校は生徒、小学校は児童という表示に訂正いたします。

それと、問の問題で 2 番と 6 番と重複するっていうところ、小学校も中学校も一緒でも、これは確かに仰るとおりなので 1 つにしたいと思います。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

お願いします。

○G 委員 細かいところで申し訳ありませんが、先程の生徒については他のページにもたくさん出てくるので修正をお願いします。

保護者用の2ページのところで、問1、あなたのお子さんの就学状況と学校名をお教えてくださいってこのところですが、これはどういうことを意図して聞いているのかちょっと分からないんですけども。

この欄に例えば、子どもが何人も居るよってという欄はちょっと小さすぎるのもっと欄を広げる。例えば、何歳って未就学の児童、幼児が何歳っていうのと、それから小学生のところの欄はどう書いたらいいのか。1年とか2年とか書くのか、何人と書くのかちょっと分からないんですけども。ここのところどう書くのかって書く人は思うと思います。丸で囲んであげたら小学生がいます。あるいは未就学児童がいますっていうだけなら、もう丸で終わりなんだろうけど。(1)のとこ歳って書いて何歳かって書いてますので、これ複数が出てきた時、何歳の子と何歳の子いますとかっていうの出てくると思ってます。

後、それと同じような感じで、ちょっと元に戻って住民のほうのアンケートのところで、2ページ目、問5のところですけども、孫を含むというところがあると思うんですけども。孫じゃなくひ孫も居たり、あるいはこの孫というのは同居をしていることをいうのか、あるいはただ単に居るといっただけで、市内に居る、居ないとかってそれも関係しているのかどうか。市内の中で住んでいる孫あるいは同居している孫ということになるのか。ひ孫も含めて。こういうところなんかも細かいことですけども、そういう直面する方だったらどう書けばいいのかなとかいうのがあります。

後、問4のところもこれ大きな括りでいっているんで、会社員だったら括弧、公務員を含むって書いているんですが、自営業というのはどうなんですかね。そのお店を想定して、お店とかそういうものを自分で何か工場経営しているとか、それを言われているのか。農家は別でその他に書くのかどうか。

細かいこと言っていったらそういうのが気になります。

後、中学校なんか運動会と言わず体育祭ということが多いと思いますんで、そこらのところも細かいところですが、見ていったらありました。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

体育祭と運動会が違うというご指摘をいただきました。

いかがでしょうか。他にお気づきの点。

何かありますか、事務局。

○事務局 今の質問に対して分かっている範囲で回答してもよろしいですか。

市民向けの問4ですが、事務局のほうで考えてたのですが、この問い自体要らないのではないかなというのがありますので、省く方向で検討しております。

そして、確かに問5については仰るとおりですので、言い回しを考えたいと思います。

保護者のところの間 1 についても就学、未就学児と小学生っていうところなんですけれども、ここも何歳というのは消します。

それと、未就学の人については保育所のほうへ直接お願いします。小学校は小学校のほうからお渡ししてもらおうというような形をとります。人数を別に構えないんで、居るのか、どこの学校区となるのかをお聞かせいただければと思うのでこういう問いかけにしております。

○会長 ありがとうございます。

どうぞ他にいかがでしょうか。よろしいですか。

お願いします。

○G 委員 2 ページの間 4 について、事務局の方から小規模については省略すると仰ったんですけども、やはり回答される方の身分とか年代とか、参考にする上では必要かと私は思うのですが。

○会長 事務局お願いします。

○事務局 すみません。この件につきましては再検討していきたいと思えます。

○会長 よろしいですか。

ご提案ありがとうございます。

他にどうでしょうか。よろしいですか。

(発言するものなし)

○会長 そうしましたら、急ぐわけではございませんけれども、ただ今いただいたご意見をもとに事務局で再度調整を行いまして、そしてまた場合によっては副会長とも相談いたしまして、再度皆さんにご審議いただくという、そういう流れで進めていきたいと思えますがよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○会長 事務局対応してもらえよね。

お願いします。

○事務局 委員の皆さんからいただいたご意見を参考にして、事務局のほうで調整させていただいて、先程のご意見もありましたので議事録と一緒に事前にアンケート素案ができましたら送らせてもらいたいと思えます。

次回の日程案内を送る時に一緒に送りますので、次回検討委員会までに 1 回確認していただくような形で進めていきたいと思えますので、委員の皆さんどうでしょうか。

○会長 ありがとうございます。

そうしましたら、ただ今このアンケートについてのご意見を伺いまして、内容的にもご指摘いただきました。

皆様方ご覧になっていただいて、もしお気づきの点がありましたら、このアンケート調査の調査票のご記入にあたってというところに電話番号あるいはファクシミリ番号が書いてありますので、そちらのほうにアンケートについてというような頭書きでもってお

送りいただけたら事務局でも対応しますし、今事務局でも申し上げましたように、事前にまた次の審議に向けて準備をするということで進めさせていただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○会長 では、今日の審議といたしましては、このアンケートについてのご意見を伺うということです。

結論といたしまして、皆様方のご意見を反映して、そして次回までに準備をするということですのでよろしいですね。よろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○会長 ありがとうございます。

そうしましたら、次に移らせていただきます。

---

### ◎その他について

○会長 次の議題ですけど、その他についてです。

最後になりますが、今日の会議全体を通しまして何かご意見等ございましたらご発言いただきたいと思います。

お願いします。

○D 委員 学校を統合する検討は大変良いことなんだけど、市が合併する時に分かっていたはずなんです。なぜもっと早くできなかったのかという疑問があります。

保育所なんかはもう名手においては平成 19 年に統合して、そして桃山は平成 24 年に統合、そして粉河は平成 31 年になど。その時にこの検討会を前倒しでしていたら、今頃ちょうど結果が出ているのかと思います。

今一番問題になっているのが小学生で不登校が多い。そのなかの一部ですが、その子どもが少ないなかで 1 学年に 1 クラスしかできないと、ちょっといじめにあったり嫌なことあったりしたら不登校になる。今の検討会で議論して結果が出るのが 5 年後ぐらいになるとしたら、その 5 年間の間でどのくらい子どもらが犠牲になるかっていうのを考えたら、なぜ早くできなかったのかと思います。

○会長 事務局お願いします。

○事務局 委員言われるように、もっと早く検討会ができたなら良かったのになというのは私も思うところですが、子どもの減り方がかつらぎ町とか他の地域よりなだらかに減っていったというのがあって、今になってしまったというのが実情です。

保育園については、その保護者が送っていくなどして入園する保育園を選択できたので、アンケートをする手続きを経ずに行政ペースで話は進めていったので早くできた

いうのがあると思うんです。

仰るように、子どもの人間関係で1学年に1クラスしかなかったらクラス替えができないという弊害もあるんですけど。質問のあるように少人数は少人数なりのメリットがあるということで、議会の質問でも両方のそういう質問があるというのもあって、早くこう一歩踏み出すことができなかつたというのが現状です。

○会長 どうぞお続けください。

○D委員 その時に、なだらかでできなかつたと言いますが、保育所自体が統合になった時に、やっぱり人数が減ってきているから統合になっていったと思うけど。その時にこども課と教育委員会とちゃんと話をして、動いて進んでいったほうがとにかく早くできるものだと思います。子どもの犠牲が少なくできるのかなと。ですので今、小学校でもかなり不登校の子も多くなってきているし、やっぱりそういう原因も一つ中に入っていると思います。

それともう一つ聞きたいのが、ちらっと聞いたのですが、小学校1年生が2学級にするっていう話、その人数関係なく。そういう話がありますか。

○事務局 その国の基準からいくと、今のところ1年生と2年生だけが35人学級で、この前新聞に載っていたと思うんですが、令和3年度から2年生まで35人、令和4年度で3年生まで35人って年度によって、2025年か2026年かに6年生まで35人学級っていう、他のまだ40人学級が基準なのでそういうふうに改め行っていくということです。

市の教育委員会と学校の運営でその少人数学級を今1つのクラスを2つに分けて少人数学級を実施しているという実態はあります。それがそういう国の基準に則ったやり方でなくて、工夫をしてそういう形をとっているという実態です。

○会長 どうぞお続けください。

○D委員 まあ我々は区長代表で来ているのだけど、区長代表の任期は1年なので、次の区長代表がここへ来るとなった時、また一から我々教育のこと全然分からないけど、一般的なことしか分からないけど。そやけどその早く進めるにあたって、やっぱり関わっている人がずっとやって決めていったほうが早くできると思うのだけど、その辺どうですか。

○会長 ありがとうございます。

○事務局 まあこんなこと言うとお叱り受けるか分からないですが、区長が変わられた場合でもこの委員を今の人でやっていただければ事務局としたらありがたいと思います。部長から後でお願いする予定ですけども。

そのD委員言われるように、今会議をして来年の末に答申をもらって地域の説明会とかがあってというのはだいたい2年ぐらいかけないといけないというふうに思っているんですけど。そういう計算をすると5年後ぐらしかこの今回議論していただいた計画が実現していかないということになると思います。そのくらい地元説明含めて市民や保護者の意見を聞かないと、賛否両論があるのです。ですのできちっと意思疎通を図った形で実施

したいというふうに思っています。

○D 委員 賛否両論あるっていうのが分かっているのであればね、もっと早くから議論したらよかったと思います。子供のことをもっと考えて進めていってほしいと思います。

今更言っても仕方ないけど、できるだけ急ピッチでこの計画ができるように持っていかけてくれたら有り難いなと思います。

○会長 よろしく願いいたします。

ご指摘ありがとうございます。

その他といたしまして、事務局のほうから発言がありましたら。

○事務局 D 委員から早く結論を出すべきというふうなご意見も出ておまして、そのなかで区長さんの任期が終了になる人も出てくるので、特に早くしたらどうかなというご意見でしたけれども、その件でちょっと私のほうからお願いをさせていただきます。

前回の委員会でも説明いたしました、皆さんの任期につきましては委嘱の日から答申をいただく日までとなっております。そんななかで新型コロナウイルス感染症の影響で、本委員会の進行計画が当初の予定よりも遅れております。現時点では、答申をいただけるのは令和3年度末ぐらい、要するに令和4年3月ぐらいの見込みと事務局では今考えております。

つきましては、皆さんには現在の役職等を離れましても答申が確定するまで引き続き本委員会の委員をどうかお願いしたいということで、私どもの一方的なお願いになるんですが、この場でお願いをしたいと考えております。

以上です。

○会長 ありがとうございます。

ただ今事務局のほうからご説明ありましたが、委員の任期につきましては、コロナウイルス関係で議事が少し遅れぎみなので大変だとは思いますが、是非お続けいただきたいと。

私個人といたしましても、せっかく今まで、ご意見いただき議論を積み重ねてきた方々から、次の人に引き継いでもらうというのもあまり好ましくないのではないかと思いますので、是非皆様方にもう1年頑張って、そして大変でしょうけれども紀の川市の子どものための教育環境の向上のためにご尽力いただきたいと思っていますが、いかがでしょうか。お願いできますでしょうか。

よろしいですか。

どうぞ、お願いします。

○F 委員 ちょっと前にもお聞きしまして、一応答申は出るまで任期を、区長としての任期は色々5人ありますけどもね。今年で終わる人とか、あるいは来年もされる人色々あるかと思うんですけども。先程仰ったように、第1回目の時にそういうお話でしたので、まあ我々としてもそれはそれで答申が出るまで皆さんに色々ご協力申し上げることというつもりで私らはおりました。

ただ、保護者会とか他の皆さんの意見を聞く期間というのは、またその後あるでしょう。

それはもういいわけですね。一応答申が出るまでという基準、期限を切るわけですね。

○事務局 答申するまでということでご理解いただければ有り難いです。

○F委員 どうですか。皆さんよろしいですか。

○会長 よろしく願いいたします。是非よろしく願いをします。

ありがとうございます。ほっといたしました。

今日会議全体としまして何かご意見いかがでしょうか。

皆様方には宿題みたいな形でこのアンケート、あるいは色々なことをご相談申し上げますかと思いますが、よろしく願い申し上げます。

では、事務局のほうから次回の委員会についての発言をお願いします。

○事務局 次回の検討委員会の開催についてですが、令和3年3月上旬を目処に開催したいと思っています。先程皆様方からいただいたご意見をもとに、修正したものをご審議いただきたいと思っております。

それと、先程ご意見もいただいておりましたとおり、議事録とそのアンケートの修正案も事前にお送りして、皆様方にお目通しいただけるようにしたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

そのアンケートですが、ご承認いただいた後、令和3年度に入って早い時期に配布して実施していきたいと考えております。

事務局からの説明は以上となります。

○会長 ありがとうございます。

よろしいでしょうか。次回は3月上旬で準備してまた調整した上でご通知申し上げます。よろしくご協力ください。

そうしましたら、今日の会議の進行は私の任務は解かしていただきまして、事務局のほうへお願いします。

○事務局 会長、議事進行ありがとうございます。

---

## ◎閉会

○事務局 それでは、閉会にあたりまして、副会長からご挨拶をお願いします。

○副会長 皆さん遅い時間帯のなか、ご家庭のほうも忙しいなかですが、こういうふうにご集まってくれて、しっかり意見を出していただいているというのは本当に有り難いことだと思っております。

私たちのこの任務というのは大変デリケートな案件です。日数があるようで実は会議の回数を数えるとあまり日数が無いと思います。その短いあるいは少ない回数の中で議論を深めていけたらと思っておりますので、今後ともご協力のほうよろしく願いしたい

と思います。

本日はどうもありがとうございました。

○事務局 委員の皆様におかれましては長時間ありがとうございました。

再度ご連絡いたします。

次回、第3回検討委員会につきましては令和3年3月上旬を目処に開催を予定させていただきたいと考えておりますので、ご予定のほどよろしく願いいたします。

正式な開催通知につきましては、遅くとも開催の2週間前を目処にご案内をさせていただきたいと考えております。

これもちまして、第2回紀の川市立学校適正規模適正配置検討委員会を閉会いたします。

皆様ありがとうございました。